

アフターサービス

●保証について

保証期間（1年間）中の故障に付きましては、無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管して下さい。（詳しくは「保証書」裏面をご覧ください。）

●万一故障が発生した場合

故障または修理をご依頼される場合、アフターサービス係までご連絡下さい。

アフターサービス係 受付時間 月～金（祝日除く）
9:00～12:00 / 13:00～17:00

直通ダイヤル ☎ 06-6693-5353

修理をご依頼の場合、修理品は下記まで直接お送り下さい。尚、送料はお客様のご負担になります。

●補修用品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の特性を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後3年間保有しております。

保守と点検

- 使用後は、粉塵など取り除いた後、ドリルチャックからドリルを取り外して保管して下さい。
- 使用後は、次回の使用に備えてネジ類のゆるみや、異常な箇所がないことを確認しておいて下さい。万一、異常があったときはそのまま放置せず、お買い上げの販売店またはメーカーに点検、修理を依頼して下さい。（有償修理）
- 本体の汚れは乾いた布で軽く汚れを拭き取るようにして下さい。
- 本体は防水構造ではありませんので、絶対に水などを付けて洗ったり、拭いたりしないで下さい。また、絶対に揮発性の溶剤やガソリン、シンナーなどで洗ったり、拭いたりしないで下さい。変形、変色の原因となります。
- 保管は小さいお子様の手の届かない、室内の安定した所にして下さい。また、湿気がなく、直射日光の当たらない涼しい場所で、高温にならない所に保管して下さい。

※改良のため予告なく仕様、使用方法等を変更する場合があります。

製造元 株式会社 キソパワーツール

●商品、カタログに関するお問い合わせは
月～金（祝日除く）9:00～12:00 / 13:00～17:00
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町7丁目1-8

TEL.06-6693-5353 FAX.06-6693-5355

ホームページでのインフォメーションは <http://www.kiso-proxxon.co.jp/>

PROXXON

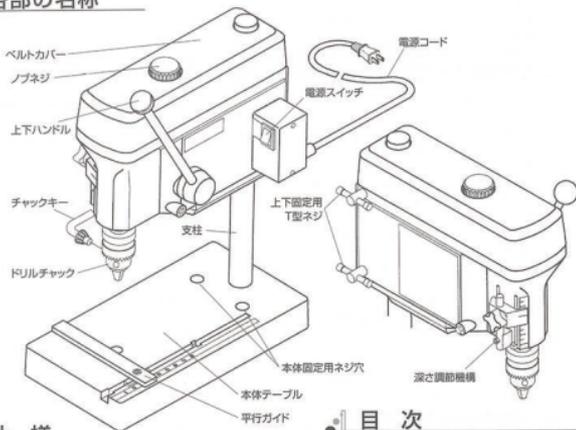
No. 28128

プロクソン テーブルドリル

取扱説明書

この度は、プロクソン・テーブルドリルをお買い上げいただき、ありがとうございます。安全に効率よくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読み下さい。また、この取扱説明書は大切にお手元保管して下さい。

各部の名称



仕様

電 源	AC100ボルト-50/60Hz
消 費 電 力	80W
定格使用時間	15分
穴あけ能力	0.8mm～6.0mmの穴あけ
回 転 数	約2100, 4500, 6200min ⁻¹ (変速) 3段ベルト変速
機 体 寸 法	テーブル寸法 120×225mm 本体高さ 300mm
重 さ	4.0kg
付 属 品	チャックキー、平行ガイド、L型シンチ、アース用コード(長さ5m)

目次

各部の名称 / 仕様	● P.1
安全上のご注意	● P.2
テーブルドリル使用上のご注意	● P.3
用途 / 本体の組み立て	● P.4
電源の接続とスイッチ操作	● P.5
ご使用方法	● P.5
展開図と部品表	● P.7
アフターサービス / 保守と点検	● P.8

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を少なくするため、次に述べる安全上の注意を必ず守って下さい。
使用前に、これらのすべての注意事項を読み、そして留意したかご確認して使用して下さい。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管して下さい。

「シンボルとシグナル用語」の意味について

注意文の語部の指示の「シンボルとシグナル用語」の意味を説明します。
なお、**注意文**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも重要な内容を記載しているため、必ず守って下さい。

危険：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容のご注意。

警告

- 作業場は、いつもきれいに保って下さい。
作業場の周囲も考慮して下さい。
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で絶対に使用しないで下さい。
 - 作業場は、十分に明るくして下さい。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないで下さい。
- 感電に注意して下さい。
 - 雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で絶対に使用しないで下さい。
 - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにして下さい。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
 - 切断や研磨の作業の際、水、研磨液などは、使用しないで下さい。
- アース端子の付いている器具は、必ずアースを接続して下さい。
- 使用電源は、銘板に表示した電圧で使用して下さい。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速になり、故障や事故の原因となります。
- 作業中、無理な負荷をかけたり、銘板に表示した規定使用時間以上の連続使用をすると、モーター部、電子制御部が劣化・故障の原因となります。
 - 安全に効率よく作業するために、製品の能力に合った速さで作業して下さい。
 - 小型の電動工具は、大型の電動工具で行う作業には使用しないで下さい。
- 作業中、手、目や顔を刃物に近づけないで下さい。
- 子供を近づけないで下さい。
- 使用しない場合は、きちんと保管して下さい。
 - 乾電池は、乾電池の端子が、子供の手がつかない所に保管して下さい。
 - 巻き込み事故の防止のため、手袋等の着用は絶対にして下さい。
- 作業中は保護メガネを使用して下さい。粉塵の多い所では、防護マスクを併用して下さい。
- コードを乱暴に扱わないで下さい。
 - コードを持って電動工具を選んだり、電源コードを引っ張って電源コンセントから抜かないで下さい。
- 加工するものをしっかりと固定して下さい。
 - 加工するものを固定するために、クランプやバイス(力か)を使用して下さい。
- 無理な姿勢で作業をしないで下さい。
- 次の場合は、電動工具の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
 - 使用しない場合、または修理する場合。
- 刃物、砥石、ビット等の付属品の取り付け、及び交換は取扱説明書に従って確実に取り付けて下さい。
作業でないと、はずれたりして、けがの原因になります。作業に入る前には、必ず試運転をして下さい。
- 電源を入れる前、付属品の取り付けに使用したキーやレンチ等の工具類が取り外してあるか確認して下さい。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、電源スイッチが閉まっていること(OPF)を確認して下さい。
- 屋外で延長コードを接続して使用する場合は、屋外用に合った延長コードを使用して下さい。

21. 電動工具は、注意深く手入れをして下さい。

- 刃物類は、常に手入れをし、よく切れる状態を保って下さい。
 - 塗油や付属品の交換は、取扱説明書に従って下さい。
 - コードは定期的な点検し、損傷している場合は、メーカーに修理(有償)の依頼をして下さい。
 - 握り部は、常に乾かして綺麗な状態を保ち、油やグリースが付かないようにして下さい。
 - 電動部、可動部、カバー部、スイッチ部やその他に損傷がないか十分に点検し、正常に動作しているか確認して下さい。異常のある場合はメーカーに修理(有償)の依頼をして下さい。
22. 指定の付属品や別売品、または指定している同等品を使用して下さい。それ以外のもを使用すると事故やけがの原因となります。
 23. 錆つて落ちたり、ぶつかったときは、先端工具(刃物類)や本体に破損や亀裂、変形がないことをよく確認して下さい。そのまま使用すると、事故の原因になります。異常のある場合は、メーカーに修理(有償)の依頼をして下さい。
 24. 本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造は絶対に行わないで下さい。
 25. 修理は必ず弊社までお申し付け下さい。修理の知識の技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

◆その他、取り扱い上ご不明の点があった場合、弊社までお問い合わせ下さい。

テーブルドリル使用上のご注意

先に一般工具として共通の注意事項を述べましたが、テーブルドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守って下さい。

警告

- 使用電源は、銘板に表示した電圧で使用して下さい。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- 電源の接続前には、必ずアース(接地)して下さい。アースしていないと感電の原因になります。
- 使用に際しては、安全のため保護メガネを着用して下さい。また、切りくずを思い込みにマスクの着用も心掛けて下さい。
- ドリルにヒビ、曲がりなどの異常がないことを確認してから取り付けて下さい。異常があると、ドリルが破損し、けがの原因になります。
- 水、研磨液などは使用しないで下さい。感電事故の原因にもなります。
- 使用中は、回転部に手や顔を近づけないで下さい。けがの原因になります。
- 加工する材料は確実に固定して下さい。特に、小さい材料を使用する場合はバイス等で動かさないように固定して下さい。
加工材が不安定ですと、けがの原因になります。
- 延長コードを使用するときは、アース線を織込んだ3芯コードを使用して下さい。
2芯コードのみですと、感電の原因になります。
- 使用中、機体の錆や曇りがあったり、異常音が出たり、異音が出たり、スイッチを切っても止まらないうち、お買い上げの販売店またはメーカーまで点検、修理を依頼して下さい。(有償修理)そのまま使用していると、事故の原因となります。
- 錆つて落ちたり、ぶつかったときは、ドリルや本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検して下さい。破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

注意

- ドリルは取扱説明書に従って確実に取り付けて下さい。確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。
- ドリルチャックにドリルをしっかりと固定し、しっかりと取り付けてあるか、しっかりと取り付けてあるか必ず確認して下さい。
- 本体テーブルはアルミダイキャスト製ですので、重いものをぶつけたら、落ちたりすると変形、へこみ原因となります。
- 電源コードを引っ張られたり、引っ掛けたりしないようにして下さい。

用途

卓上で簡単に正確な穴あけ作業ができます。(0.8mm~6.0mmの穴あけ)

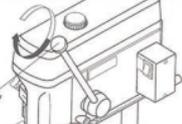
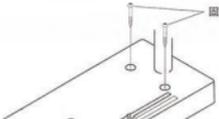
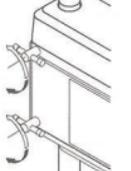
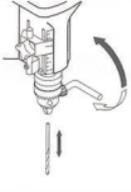
警告

・定格時間以上の連続使用はしないで下さい。

定格使用時間…… **15分**

・長時間使用する場合は、指定の定格使用時間で必ず一度スイッチを切り(OFF)、約15分たってから使用して下さい。(電源スイッチの入りによる連続運転は連続使用と同様です。)

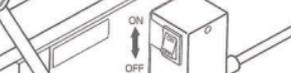
本体の組み立て

 <p>上下ハンドル</p>	<p>上下ハンドルを本体に取り付けます。</p>
 <p>固定用ネジ</p>	<p>市販のホネジなどで本体テーブルを机、作業台などにしっかりと固定して下さい。</p>
	<p>材料の高さに合わせて本体の高さを調節します。</p> <p>本体後部のT型ネジをゆるめて、適当な高さに本体を移動します。高さが決まったら、しっかりとT型ネジを締めして下さい。</p> <div data-bbox="553 595 677 771" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>注意</p> <p>引上げる範囲は、ベルトカバーを外して、隙のように支柱の隙が少し見える位置までです。</p>  </div>
	<p>ドリルの取り付け</p> <p>ドリルチャック部分を手で押さえてチャック部横の穴に付属のチャックキーを差し込んでゆるめます。使用するドリル(0.8~6.0mm)をドリルチャックの奥まで差し込み、チャックキーでしっかりと締め付けて下さい。</p> <p>ドリルを取り付けした後、チャックキーを必ず取り外して下さい。</p> <div data-bbox="487 896 677 979" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本体を固定する場合は、テーブルの溝が穴にドリル刃が入ることを確認して固定して下さい。</p>  </div>

電源の接続と電源スイッチ操作

警告

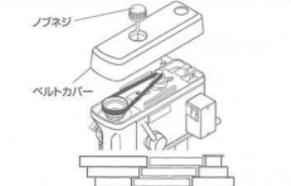
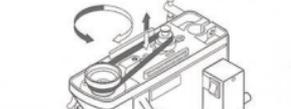
- ・電源の接続前に、必ずアース(接地)して下さい。(絶対ガス管などを代用しないで下さい。火災や爆発の恐れがあり、危険です。)
- ・電源コード先の電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ず電源スイッチが切れていることを確認して下さい。電源スイッチが入ったまま電源を接続すると危険です。

	<p>電源・アース線の接続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体テーブルのアースネジ(アース端子)をゆるめ、アース線を接続して下さい。 ・アース線の先は、電源コンセントのアース端子に確実に接続して下さい。 ・アース端子がないときは、別にアース棒などを使ってアースが引ける工事を工事業者に依頼してもらった上で、確実に接続して下さい。 ・電源コード先の電源プラグを、所定の電源コンセントに確実に差し込んで接続します。
	<p>電源スイッチはON側を押すと電源が入り、OFF側を押すと電源が切れます。</p>

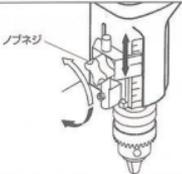
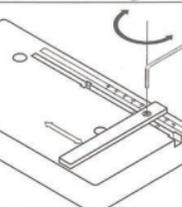
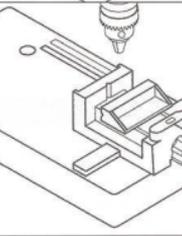
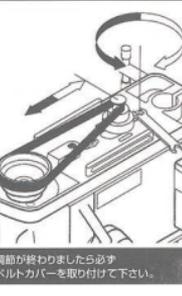
ご使用方法

警告

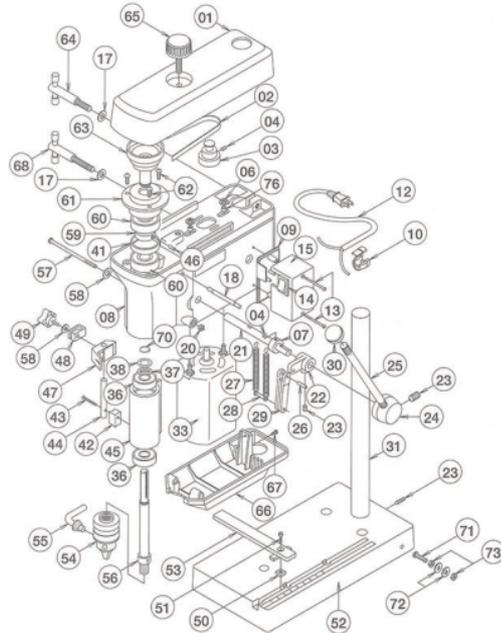
- ・巻き込み事故防止のため、手袋等の着用は絶対にししないで下さい。
- ・目を保護する保護メガネを着用して下さい。
- ・急激にハンドルを回したり、必要以上に押さ付けないで下さい。作業効率が悪いだけでなく、機械に余分な負担がかかり、故障やドリルの変形、破損事故の原因となります。

 <p>ノブネジ</p> <p>ベルトカバー</p>	<p>回転数の調節</p> <p>工場出荷時は上段2100min¹(回/分)になっています。</p> <p>ノブネジを回してゆるめるとベルトカバーがはずれます。本機は3段ベルト変速によって回転が調節できます。下記の回転数の決め方に従って、ベルトを上段、中段、下段のいずれかに付け替えて下さい。</p> <p>◎ベルトの斜め掛けは絶対にししないで下さい。</p>								
	<p>回転数の決め方(目安です。)</p> <table border="1" data-bbox="1113 880 1390 947"> <thead> <tr> <th>使用するドリル刃</th> <th>ベルトの位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.0~6.0mm</td> <td>上段(低速)約2100min¹(回/分)</td> </tr> <tr> <td>3.0~1.5mm</td> <td>中段(中速)約4500min¹(回/分)</td> </tr> <tr> <td>1.5~0.8mm</td> <td>下段(高速)約6200min¹(回/分)</td> </tr> </tbody> </table> <p>調節が終わりましたら必ず、ベルトカバーを取り付けて下さい。</p>	使用するドリル刃	ベルトの位置	3.0~6.0mm	上段(低速)約2100min ¹ (回/分)	3.0~1.5mm	中段(中速)約4500min ¹ (回/分)	1.5~0.8mm	下段(高速)約6200min ¹ (回/分)
使用するドリル刃	ベルトの位置								
3.0~6.0mm	上段(低速)約2100min ¹ (回/分)								
3.0~1.5mm	中段(中速)約4500min ¹ (回/分)								
1.5~0.8mm	下段(高速)約6200min ¹ (回/分)								

ご使用方法

 <p>ノブネジ</p>	<h3>深さ調節機構</h3> <p>ノブネジをゆるめて、深さ調節機構のストッパー部を移動させ、穴あけをする深さに目盛りを合わせます。</p> <p>◎深さ30mmまで調節可能です。</p>
 <p>L型レンチ</p>	<h3>平行ガイドの使用</h3> <p>本体テーブルの溝に平行ガイドを取り付けます。テーブルの目盛りに合わせて平行ガイドを移動させると、平行に決まった間隔に穴あけ作業ができます。位置が決まりましたら、付属のL型レンチでしっかりと締め付けて下さい。</p> <p>※テーブルの目盛りは目安としてご利用下さい。</p>
	<h3>ミニバイス(別販売品)を使用</h3> <p>図のように平行ガイドをミニバイスの溝部に固定して作業すると、小物の穴あけ作業に便利です。</p> <p>別販売品</p> <p>ミニバイス No.28130 □巾 50mm □の広がり 33mm</p>
 <p>調節が終わりましたら必ずベルトカバーを取り付けて下さい。</p>	<h3>ベルトの張りの調節</h3> <p>ベルトの張りの調節は工場出荷時に調節されています。長期間使用しますと調節が必要となります。図のようにモーター取り付けナット2ヶ所をスリナで少しだけゆるめて、プーリー(モーター側)を前後に移動させて調節して下さい。調節する場合は、ベルトを上段に取り付けた状態で行って下さい。位置が決まればモーター取り付けナット2ヶ所をしっかりと締め付けて下さい。</p> <p>注意 ベルトの張り具合が強すぎると回転が落ち、ベルトとモーターの寿命を短くします。張り具合が弱すぎると、作業中にベルトがスリップを起こします。</p>

展開図と部品表



図番	商品名	図番	商品名	図番	商品名	図番	商品名
01	ベルトカバー	21	ハンドルシャフト	42	目盛ブロック	58	ワッシャ
02	準ベルト	22	ラック 小	43	ナベネジ	59	スライドカラー
03	モータープーリー	23	ローローネジ	44	目盛シャフト	60	ベアリング
04	ローローネジ	24	ハンドルロック	45	2ヶ所用カバー	61	ベアリングカバー
06	ブラシングナット	25	ハンドル	46	4mmキーネジ	62	ナベネジ
07	ハンドルカラー	26	ローレジン	47	目盛指針	63	プーリー
08	本体	27	別置きナベ	48	目盛クランプ	64	本体固定ネジ(上)
09	スイッチボックス 台	28	バネピン	49	黒ネジ	65	ドリルビット
10	コートストッパー	29	スナップ 大	50	六角ナット	66	モーターカバー
12	電源コード	30	継り玉	51	六角穴付きボルト	67	歯タッピング
13	ナベタッピング	31	支柱	52	ベース	68	本体固定ネジ(下)
14	電源スイッチ	33	モーター	53	平行ガイド	70	スナップリング
15	スイッチボックス カバー	36	ベアリング	54	ドリルチャック	71	ナベネジ
17	ワッシャ	37	オフワッシャ	55	チャックキー	72	ワッシャ
18	4mmピン	38	ワッシャ	56	スピンドルシャフト	73	六角ナット
20	六角ナット	41	ベアリングカラー	57	ナベネジ	76	モーター取り付けカバー

展開図、部品表中の表現と本文が一致しない場合があります。又、改良のため予告なくサイズ、形状、仕様等が変更になる場合があります。各部品に関するお問い合わせは、(株)キョパワーツール アフターサービス係までお問い合わせ下さい。

(株)キョパワーツール アフターサービス係 TEL:06-6693-5353 月～金(祝日除く) 9:00～12:00/13:00～17:00